

# 考・努・感

尾張旭市立旭中学校

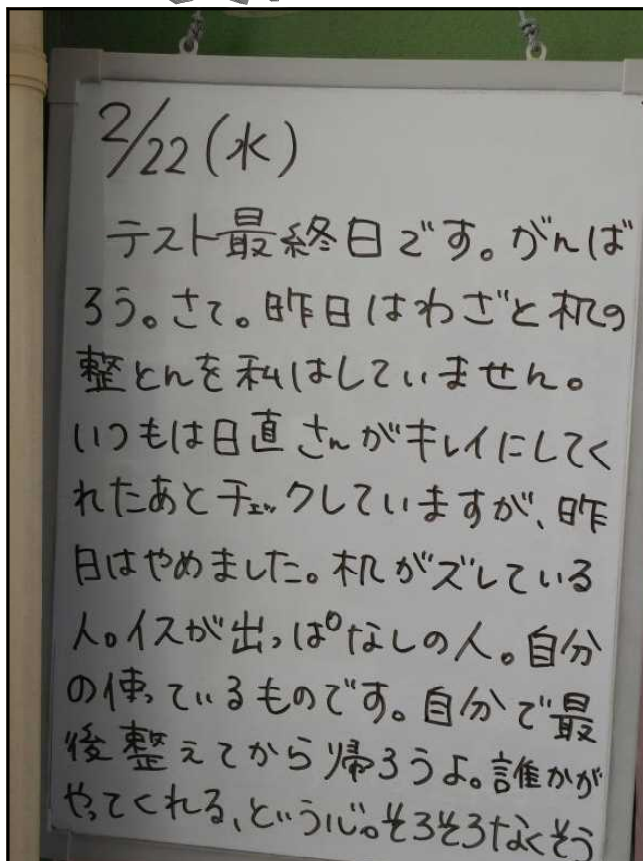
旭中学校ウェブサイトもご覧ください。

<http://www.owariasahi.jp/asahi-j/>

## “自覚”と“責任”

右に紹介した言葉は、中村真知子先生が2年C組の人たちに伝えたメッセージです。まさにその通りだと思い、全体にも伝えます。みんなが下校した後に、各担任の先生が机・いすを整頓しているのを知っていますか。別にやらなくてはいけないことではありません。しかし、翌朝みんなが登校したときに、少しでも気持ちよく教室に入ってきてほしいという願いを胸にやっています。

今回の件だけでなく、「誰かがやってくれるから・・・」ということで、どこかで自分自身がサボったり、甘えたりしている面はないでしょうか。特に学校生活の中では、自分自身がやらなくても誰かがやってくれることで、苦労したり困ったりすることなく生活できていることはたくさんあります。しかし、本当にそれでいいのでしょうか。いよいよ最上級生として迎える1年・進路選択をする1年・義務教育最後の1年を迎えます。“自覚”と“責任”をもった言動を心がけましょう。



### 【想いを伝える3送会～続編～】

～学年練習2日目を終え・・・～

本日、最後の学年練習を迎える前にもう一度聞きます。「このままの気持ち・姿勢・歌声で3年生に想いは伝わりますか？」

水曜日の練習でも笑っている人・隣の人とおしゃべりをしている人・合唱の時になかなか声が出ない人がいました。本当にこのまま来週の本番を迎えますか。「本番はしっかりやるから・・・」と思っている人もいるかも知れませんが、練習でできないこと・やらないことが本番でできるはずはありません。今日の練習でのみんなの気持ち・姿勢を楽しみにしています。

### （来週の予定）

- 27日（月）総合：自学の時間
- 28日（火）3年生を送る会
- 3月1日（水）テスト個票返却
- 2日（木）卒業式練習・準備
- 3日（金）卒業証書授与式

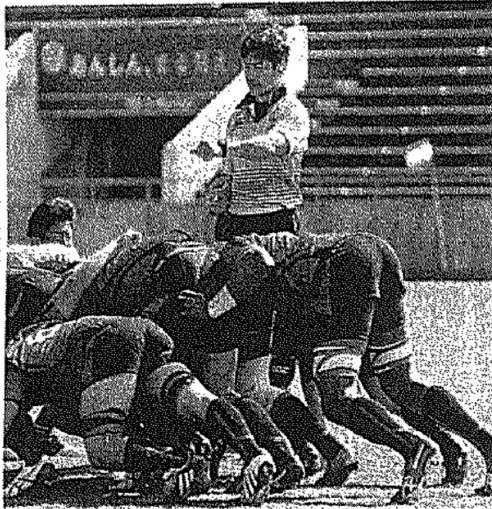


# ライバル・目標とする人の存在

## 審判人生「ライバルがいたから」

### A級の松岡さん引退

代表のテストマッチや日本選手権などで活躍した名レフェリー、松岡辰也さん(仮名)は愛知県尾張旭市出身。19日に名古屋市のパロマ瑞穂ラグビー場で行われた全国クラブ選手権決勝の主審を最後に引退した。日本ラグビー協会公認のA級レフェリーで、2016年度は6人しかいない同級資格者の最年長。年齢や後進に道を譲る思いもあって身を引いた。



レフェリーとして最後の試合でプレーを注視する松岡辰也さん。パロマ瑞穂ラグビー場で

### 取材ノート

選手経験もある松岡さんは愛知・旭野高1愛教大を経て中学教師に。並行してクラブチームで競技を続け、35歳の時に以前から請われていたレフェリーの道に進んだ。

駆け出しのころ、名將の清宮克幸監督(現ヤマハ発動機監督)率いるサントリーの2軍戦を担当。二びりながら笛を吹いたという。試合後に怒られることを覚悟したが、清宮監督から「良かったよ」の一言。ほっとするとともに自信も芽生えた。これまで約300試合のレフェリー経験で「一番成長させてくれた試合だった」と振り返る。

仲間の存在も大きかった。A級レフェリーでリオデジャネイロ五輪でも笛を吹いた大槻卓さん。九つ年下だが、レフェリーとしては1年先輩。当初は同じ教員で、勤務後に2人でトレーニングしたり、夕飯を囲んでラグビー談議をしたりした。ライバルであり、目指すべき存在。松岡さんは「こいつがいたから僕はここまで来られた」と言う。

最後の試合で副審を務めたのは大槻さん。80分間が終わると、握手を交わした。松岡さんが受けた言葉は「お疲れさま」。固い絆で結ばれた男同士に、長い言葉はいらなかった。

(多園尚樹)

2月22日(中日新聞)

今回は、私自身の強い思いを込めて紹介したいと思います。

はじめに記事で紹介されている松岡さんとの関係を少し紹介します。私が高校生の時からお世話になっている方で、同じクラブチームでプレーしたり、県の選抜チームと一緒に指導したりしました。また、瀬戸市の中学校で初めてラグビー部を創部するときにはお手伝いをさせていただきました。レフリーの試験を一緒に受講するときには、トータル七泊八日一緒に過ごしました。先月、トップレベルでは最後の試合をレフリーするというので大阪まで行き、その勇姿を目に焼き付けてきました。



私自身にとっては、ラグビー人・教員としてはもちろん、一人の人間としてずっと尊敬する人であり、目標とする人です。ライバルと言ったらおこがましいですが、私にとっては、松岡さんの存在があったからこそ、頑張ってきたことはたくさんあります。それだけ大きな存在です。みんなもこれからたくさんの人と出会います。一つ一つの出会いを大切に、自分自身を成長させてくれる人とたくさん出会ってほしいと思います。